

森田会長提出資料
23.11.30

〔 財政制度等審議会
財政制度分科会提出資料 〕

次期診療報酬改定について

平成23年11月28日

東京大学大学院法学政治学研究科教授

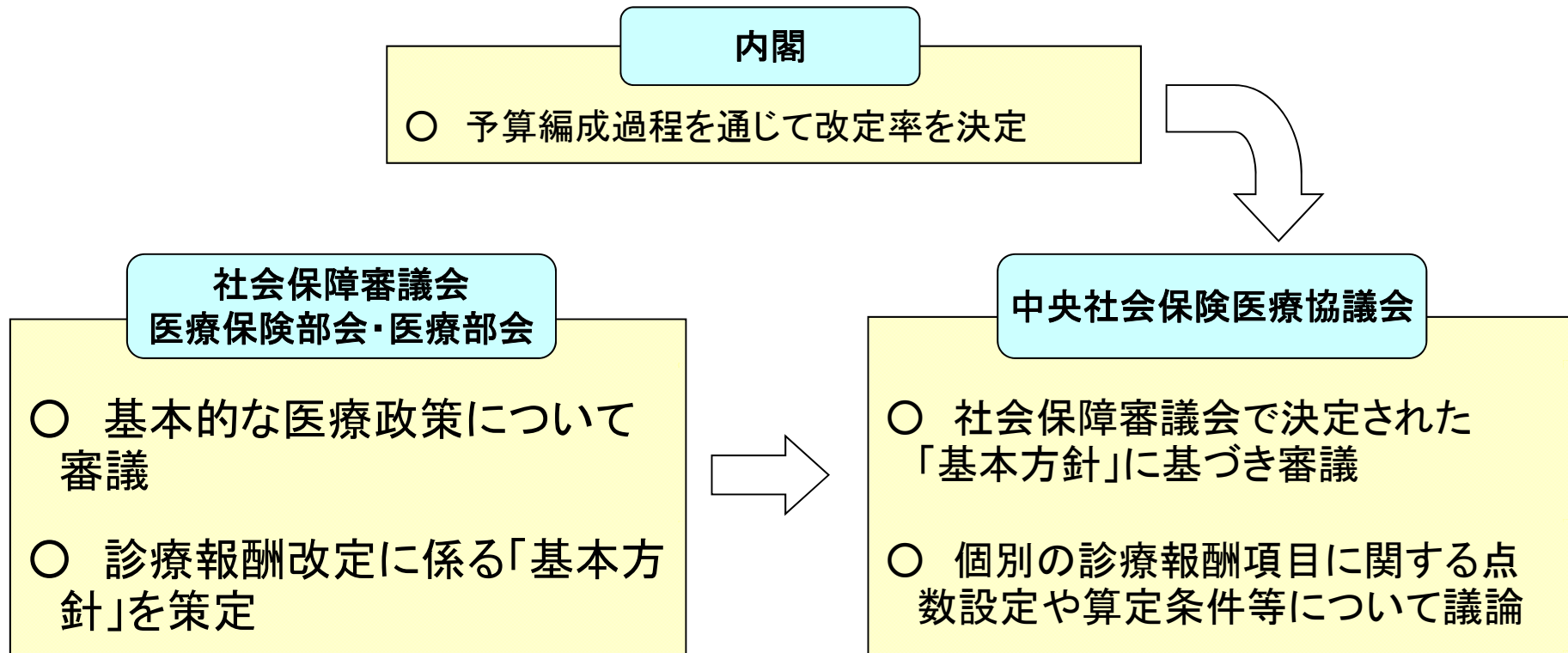
中央社会保険医療協議会会長

森田 朗

診療報酬改定における中央社会保険医療協議会の役割

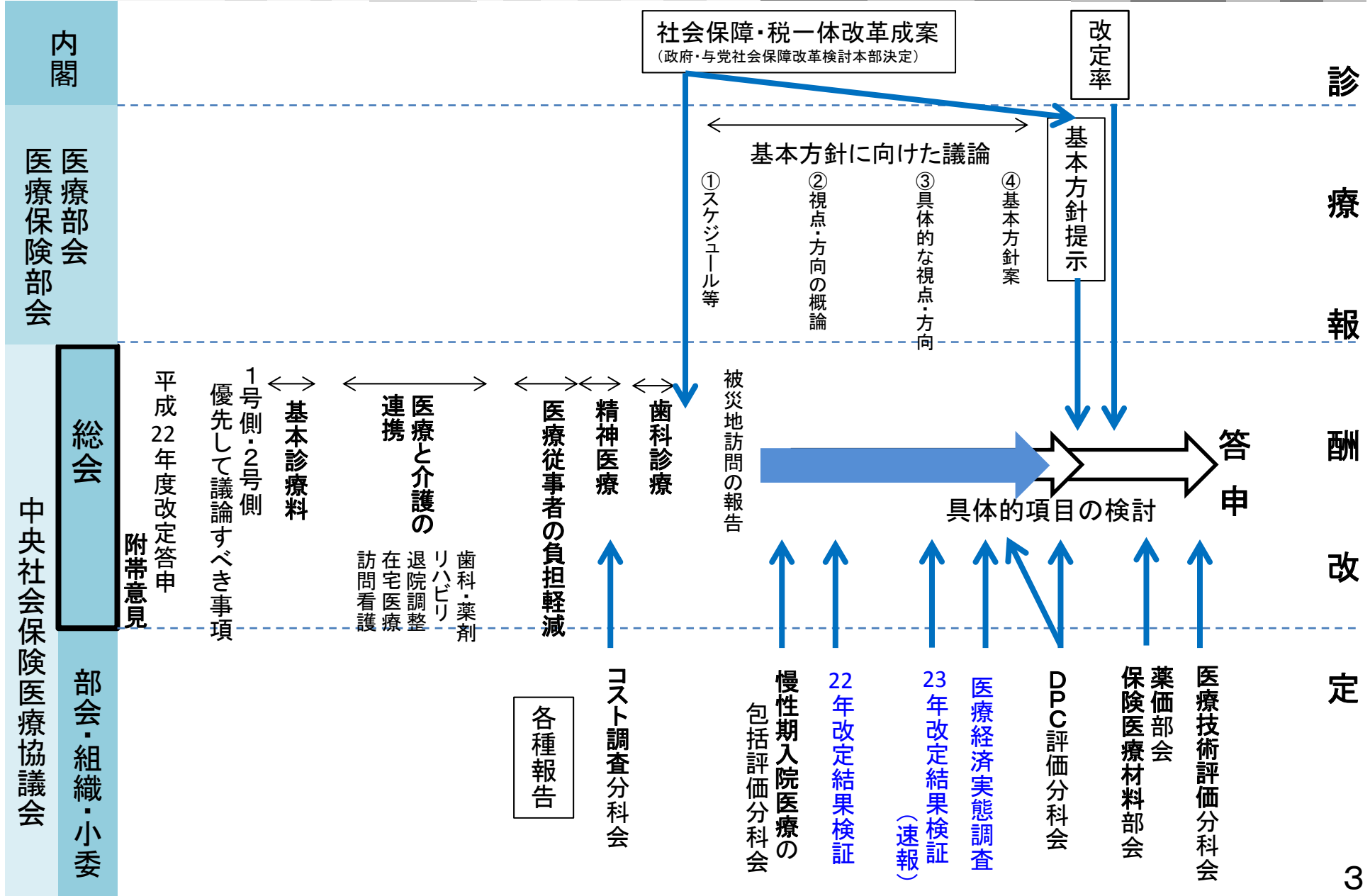
診療報酬改定は、

- ① 予算編成過程を通じて内閣が決定した改定率を所与の前提として、
- ② 社会保障審議会医療保険部会及び医療部会において策定された「基本方針」に基づき、
- ③ 中央社会保険医療協議会において、具体的な診療報酬点数の設定等に係る審議を行い実施されるものである。



次期診療報酬改定に向けた検討スケジュール

平成22年	9	10	11	12	平成23年	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平成24年	2	3	4
2月	月	月	月	月	1月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	1月	月	月	月



中央社会保険医療協議会総会 開催状況

- 第194回 2011年7月27日
 - ・社会保障・税一体改革成案の報告について
- 第195回 2011年8月24日
 - ・被災地訪問・意見交換会の報告について
- 第196回 2011年9月7日
 - ・慢性期入院医療の包括評価分科会からの報告について
 - ・診療報酬改定結果検証部会からの本報告について
 - ・年末までの議論の進め方(その1)
- 第197回 2011年9月28日
 - ・年末までの議論の進め方(その2)
- 第198回 2011年10月5日
 - ・入院、外来、在宅医療について(総論)
- 第199回 2011年10月12日
 - ・外来管理加算、地域医療貢献加算について
 - ・明細書の無料発行義務化について
- 第200回 2011年10月19日
 - ・救急・周産期医療について
- 第201回 2011年10月21日
 - ・災害医療について
- 第202回 2011年10月26日
 - ・がん対策、生活習慣病対策、感染症対策について
- 第203回 2011年11月2日
 - ・精神科医療について
 - ・医療経済実態調査の報告について
- 第204回 2011年11月9日
 - ・在宅医療について(介護給付費分科会との打ち合わせの報告を含む)
 - ・後発医薬品の使用促進のための環境整備について
- 第205回 2011年11月11日
 - ・訪問看護、在宅歯科医療、在宅医療における薬剤師業務について
- 第206回 2011年11月16日
 - ・医薬品の薬価収載について
- 第207回 2011年11月18日
 - ・診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会からの報告
 - ・医療経済実態調査の結果に対する見解
- 第208回 2011年11月25日
 - ・医療提供体制(その1:入院医療/高度急性期・一般急性期、亜急性期等、長期療養、有床診療所、地域特性)
 - ・診療報酬改定に関する基本的な見解(各号意見)

中央社会保険医療協議会と介護給付費分科会との
打ち合わせ会(2011年10月21日)
・医療と介護の同時改定に向けて(意見交換)

議題は一部抜粋

社会保障・税一体改革

今回の診療報酬改定は、「社会保障・税一体改革成案」に沿って、2025年のイメージを見据えた、あるべき医療の実現に向けた第一歩。

社会保障・税一体改革成案(抄)

(平成23年6月30日 政府・与党社会保障改革検討本部決定)

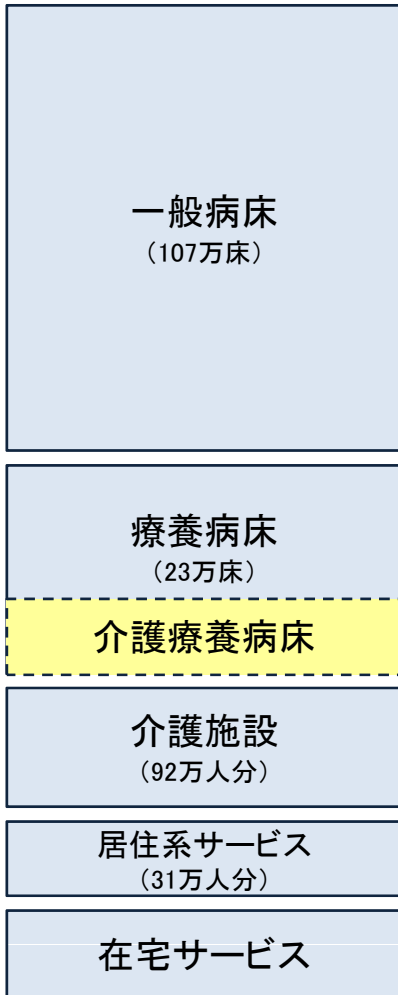
II 医療・介護等

- 地域の実情に応じたサービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化を図る。そのため、診療報酬・介護報酬の体系的見直しと基盤整備のための一括的な法整備を行う。
 - 病院・病床機能の分化・強化と連携、地域間・診療科間の偏在の是正、予防対策の強化、在宅医療の充実等、地域包括ケアシステムの構築・ケアマネジメントの機能強化・居住系サービスの充実、施設のユニット化、重点化に伴うマンパワーの増強
 - 平均在院日数の減少、外来受診の適正化、ICT活用による重複受診・重複検査・過剰薬剤投与等の削減、介護予防・重度化予防
- 保険者機能の強化を通じて、医療・介護保険制度のセーフティネット機能の強化・給付の重点化などを図る。
 - a)～c) (略)
 - d) その他
 - 後発医薬品の更なる使用促進、医薬品の患者負担の見直し、国保組合の国庫補助の見直し

将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ

患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携強化を通じて、より効果的・効率的な医療・介護サービス提供体制を構築。

【2011(H23)年】



【取組の方向性】

- 入院医療の機能分化・強化と連携
 - ・急性期への医療資源集中投入
 - ・亜急性期、慢性期医療の機能強化 等
- 在宅医療の充実
 - ・看取りを含め在宅医療を担う診療所等の機能強化
 - ・訪問看護等の計画的整備 等
- 在宅介護の充実
 - ・地域包括ケア体制の整備
 - ・ケアマネジメント機能の強化 等

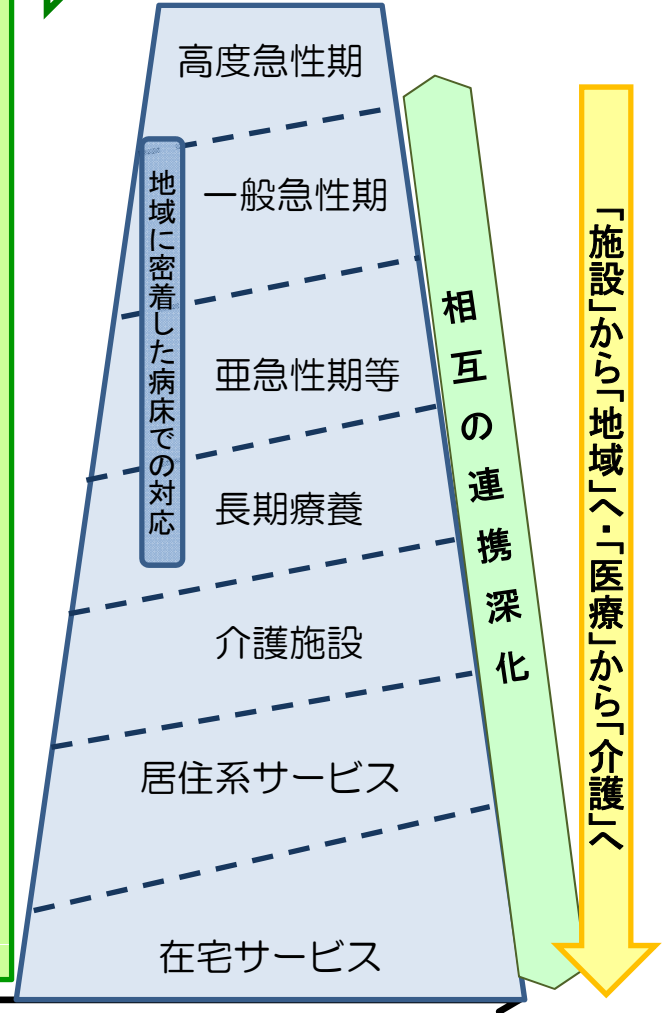
2012年以降、診療報酬・介護報酬の体系的見直し

基盤整備のための一括的法整備(2012年目途法案化)

【患者・利用者の方々】

- ・病気になっても、職場や地域生活へ早期復帰
- ・医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域での暮らしを継続

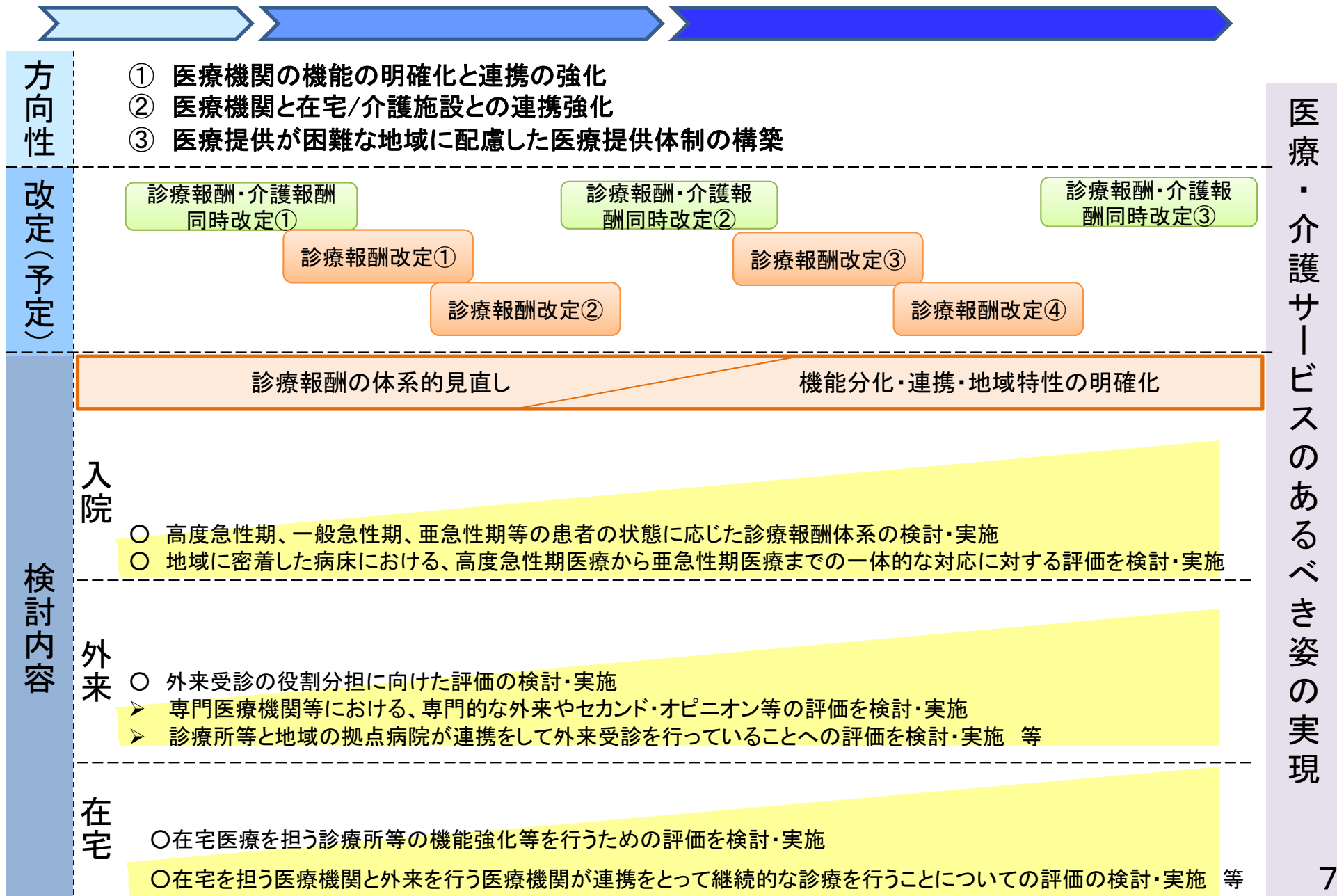
【2025(H37)年】



医療・介護の基盤整備・再編のための集中的・計画的な投資

診療報酬における社会保障改革の実現に向けたスケジュール(粗いイメージ)

2012年 2014年 2016年 2018年 2020年 2022年 2024年 2025年



平成24年度診療報酬改定に関連する調査

○ 医療経済実態調査

第18回医療経済実態調査

○ 損益差額構成比率(直近2事業年度)

・一般病院 ▲1.6→0.5%

・一般診療所(医療法人立) 5.5%→5.8%
(個人立)25.9%→26.9%

【1号側(支払側)委員の見解のポイント】

全体的な傾向として、一般病院の経営が改善し、一般診療所も黒字が続いており、安定した経営を維持している。厳しい経済・社会情勢や国民負担、保険者の財政状況なども考慮すると、患者負担や保険料負担の増加につながる診療報酬の引上げを行うことは、とうてい国民の理解と納得が得られない。

【2号側(診療側)委員の見解のポイント】

前回改定を受けて医業収益にある程度の伸びが見られたものの、これまでの相次ぐ診療報酬のマイナス改定によって経営状態が大きく悪化したところから少しばかりの改善を見せたに過ぎない。質の高い医療の提供に不可欠な設備投資、勤務医の処遇改善等を進めるためには、経営は依然として不安定。診療報酬の引き上げによる医療費全体の底上げを強く求める。

○ 薬価調査及び材料価格調査

〈今後調査結果を公表予定〉

平成24年度診療報酬改定における主な検討課題

- 社会保障・税一体改革成案(平成23年6月30日政府・与党社会保障検討本部決定)に掲げられている、病院・病床機能の分化・強化と連携や、在宅医療の充実等に向けた評価を検討する。
 - (例)・ 高度急性期、急性期等の病院機能にあわせた入院医療の評価
 - ・ 慢性期の入院医療に対する適正な評価
 - ・ 病棟薬剤師や歯科等を含むチーム医療の促進 等

- 介護報酬との同時改定であるため、医療・介護の役割分担の推進や、地域での連携体制の構築に向けた評価を検討する。
 - (例)・ 病院からの地域への早期円滑な移行の促進に向けた取組
 - ・ 在宅医療を担う医療機関の役割分担や連携 等

- その他、医療保険制度の適正な運営を確保しながら、国民が安心して医療を受けることができるよう、充実すべき分野の評価や、適正化するべき分野の評価を検討する。
 - (例)・ 認知症に対する精神科医療の適切な評価
 - ・ 後発医薬品の使用促進 等

平成24年度診療報酬改定の基本方針（案）のポイント

（社会保障審議会医療保険部会・医療部会において議論中）

重点課題（案）

「社会保障・税一体改革成案」等を踏まえ、以下の課題について重点的に取り組むべき。

- 救急、産科、小児、外科等の急性期医療を適切に提供していくという観点も踏まえた、病院勤務医等の負担の大きな医療従事者の負担軽減
チーム医療の推進、救急外来や外来診療の機能分化の推進 等
- 医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実に向けた取組
在宅医療を担う医療機関の役割分担や連携の推進、看取りに至るまでの医療の充実、在宅歯科、在宅薬剤管理の充実、訪問看護の充実 等

改定の視点（案）

- 充実が求められる分野を適切に評価していく視点
がん医療の充実、認知症対策の促進 等
- 患者等から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で生活の質にも配慮した医療を実現する視点
退院支援の充実等の患者に対する相談支援体制の充実に対する適切な評価 等
- 医療機能の分化と連携等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
急性期、亜急性期等の病院機能にあわせた効率的な入院医療の評価、慢性期入院医療の適正な評価 等
- 効率化余地があると思われる領域を適正化する視点
後発医薬品の使用促進策 等

将来に向けた課題（案）

来年度の改定のみならず、超高齢社会のあるべき医療の姿を見据えつつ、引き続き、「社会保障と税一体改革成案」において、2025年の姿として描かれた病院・病床機能の分化・強化と連携、在宅医療の充実、重点化・効率化等の推進等に取り組んでいく必要がある。

急性期、亜急性期、慢性期等の病院・病床機能の分化、強化
地域に密着した病床における入院医療等の一体的な対応、
外来診療の役割分担、在宅医療の充実